

# 1号議案 平成29年度活動報告

## 理事長総括

(小川理事長)

- ◆ふくてっくも25年目を迎え、更なる会活動の充実ぶりを実感しています。これまでの地道な種まきが芽を出したのもあれば、細々と続けていた活動の本格化と、3部会が本当に活発に活動出来ています。
- ◆その充実が賛成にも活動する会員の確保をやりくりしなければならぬほどになりました。
- ◆そんな状況だからこそ、これまでのふくてっく積年の願いである会員増員の機会到来と受け止め、3活動を看板に活動趣旨の理解、賛同協力出来る方へのアクションを積極的に進めて、多くの仲間と悩みながらも考え、勉強しながら、そして楽しく笑顔で活動出来る会を目指していきます。

## 事務局報告

(中北事務局長)

### ◆定例会記録

開催日	学習会テーマ	学習会講師	その他
H29.7.1	蔵の調査	曾我部千鶴美会員	・第一回大阪自治フォーラム 「空き家・空きスペース活用」 中北・清水会員参加
H29.8.5	第16回定期総会開催		・午前中に理事会開催
	3部会の活動報告 および次年度計画その他	各部会リーダー	・大阪市住まい情報センター タイアップ事業 「介護保険による住宅改修」 東大阪部会メンバー参加
H29.9.2	100歳までのお金の使い方	ファイナンシャルプランナー 川添富巳雄氏	・ボラ協CANVAS よるがく「介護保険の謎」 中北会員参加
H29.10.1	NPO15周年記念 シンポジウム	海望福祉会総合施設 長 大崎雅子氏	・懇親会
H29.10.7	就労移行支援の現状	NPOハニー・ビー 新田浩史氏	
H29.11.4	放課後等デイサービスの 現状と課題	(社福)いわき学園 中田貴久男氏	・大阪市成年後見支援センター開設十周年フォーラム 清水会員参加
H29.12.2	ファシリテーターの役割	藪田雪子氏	・会誌93号を発刊 ・大阪グレートサンタラン に会員5名が参加 ・OCVC座談会20周年 中北会員参加
H30.1.6	親睦会(学習会はなし)		・牧口一氏が例会に参加 障がい者居宅の防災取組提言 ・ボラ協新年互礼会に参加
H30.2.3	どんなに障害が重くても挑戦する～パンジーメディアから見えたもの～	(社福)創思苑 小川道幸氏	・午前中に理事会開催 ・会報第93号を発行 ・eトコニパーティ ・スペシャルキッズサポートの集いに当会のポスター展示
H30.3.3	議会や議員って何をしているの？	大阪市議員 武 直樹氏	・こうべユニバーサルデザインフェアに「すべらんうどん」が出店され、有志が参加
H30.4.7	都市と農村のまちづくり	人見 修氏	・灘の酒蔵めぐり11名参加
H30.5.12	H30年度介護保険改正による市民生活への影響	介護支援専門員 三浦浩史氏	・共生・共走ルーマラソン ・ATCにシュレッダー設置
H30.6.2	公証人役場の役割	下野恭裕氏	・会誌94号を発刊

◆総会記録

開催日時	場所	議事
第16回 定期総会 H29.8.5 13:42～15:10	弁天町オーク200 生涯学習センター 正会員総数 37名 出席24名 (うち委任状出席7名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度活動報告・同決算 承認</li> <li>・H29年度活動計画・同予算 承認</li> <li>・監査報告</li> <li>・役員改選の件</li> </ul>

◆理事会・運営会議記録

開催内容・日時	場所	議事
運営会議 H29.7.21 17:30～20:00	大阪市立社会福祉センター 3階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度活動、決算報告</li> <li>・H29年度活動、予算計画</li> <li>・終身通信会員資格の検討</li> <li>・H28年度活動、決算報告</li> <li>・H29年度活動、予算計画</li> </ul>
理事会 H29.8.5 10:40～12:30	弁天町オーク200 生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度活動、決算報告</li> <li>・H29年度活動、予算計画</li> <li>・役員改選について</li> <li>・H28年度活動、決算報告</li> <li>・H29年度活動、予算計画</li> </ul>
理事会 H30.2.3 11:02～12:20	大阪市立社会福祉センター 3階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者居宅防災支援活動の取り組みについて</li> <li>・学生インターンシップの受入について</li> <li>・H29年度上半期の活動報告・下半期の活動計画</li> <li>・定款変更の件</li> </ul>

# 1. ふくてっくのつどい

(小川会員)

ものづくり活動		平成29年度事業報告 (H29/7/1~H30/6/30)	
A: 事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
	成果		
1	あそびかたフェスタ あそびかた研究会	8/27	大阪市立総合医療センターでの年に一度のお祭り。入院中の子供たち、退院した子供たち、通院している子供たちを対象のフェスタ
	大阪市立総合医療センター 大会議室		センター内でボランティア活動をしている団体が参加する中、自由に木工端材を使って独創性豊かな作品が多く完成し、ものづくりの機会を提供できた。 (池端、和泉、稲住、小川、鎌田、苺田、佐久川、島村、曾我部、竹田、寺岡、計11名参加)
2	幼稚園親子木工教室	11/1	園児達へのものづくり(工作)体験。(シンボルツリー制作とミニ工作)
	羽曳野市立古市南幼稚園 上記幼稚園(羽曳野市)		年間を通してイベントで使うシンボルツリーを製作。子供たちの自由な発想を出来るだけサポートしながら、先生方の協力で立派なツリーが3本でき、年内を通じて園児達は木工に触れる機会を提供できた。 (池端、小川、鎌田、苺田、佐久川、島村、曾我部、松本 計8名参加)
3	幼稚園秋の遠足	11/17	自然を体験&ミニ木工体験
	羽曳野市立古市南幼稚園 生駒いいもり里山		幼稚園の遠足として自然を体感、自由に山の造形を生かしたアトラクションでいきいき楽しんでもらう。山の木々、草花、虫に触れながらミニ木工の体験してもらい園児にとって貴重な体験を提供できた。 (池端、小川、鎌田、苺田、佐久川、島村、曾我部 計7名参加)
4	37回池島ふれあいまつり	11/23	地域の「ふれあいまつり」での木工工具の体験と自由な発想による工作体験
	社会福祉法人海の子の家 池島公園		今年は木箱を準備したことでいつもと違うタイプの作品もありましたが、やはり自由木工では概ね定番の作品が多くできました。毎年参加の子供達との再会はとてもうれしく、成長も感じられ、ものづくりを通じての地域交流が提供できた。 (和泉、上田、小川、鎌田、苺田、佐久川、島村、曾我部、松本、山本、計10名参加)
5	院内学級授業	1/30	入院している子供達にも、木工ものを体験。
	あそぼっくる 大阪市立総合医療センター 光陽総合医療分教室		小・中学生分かれて授業をする。制限された木工材料の中で独自性のある作品が多く完成し、ものづくりの機会を提供できた。 (池端、大塚夫婦、小川、鎌田、苺田、佐久川、島村、曾我部、寺岡、松本 計11名参加)
6	共生・共走リーマラソン	5/27	自然木を使った工作、障がい児も参加の自由工作体験
	マツサク 花博鶴見緑地公園 (子供体験コーナー)		作品傾向としては自然木を使うことは少なく、製材でハウスを作る子供が多く、将来の建築士が多く誕生しました。またリーマ参加の子供達がこの木工を楽しみにしていると聞くと、継続することでものづくりの良い体験機会が提供できた。 (有馬、池端、和泉、池端、大塚夫婦、小川、鎌田、苺田、古場、佐久川、島村、清水、杉浦、曾我部、寺岡、春岡 計16名参加)





B: 部会活動		(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)	
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
	成果		
1	木工材料準備	7/8	自然木の調達
	3名		松ぼっくりや小枝を収集。丸太も乾燥保管。 (稲住、小川、苺田、)
	岡さん能勢別荘		
2	木工材料加工準備	8/12	病院内木工体験用加工
	8名		材料カット、ペーパーかけで手触り良く、けがの無いよう準備。 (池端、和泉、稲住、上田、小川、苺田、杉浦、竹田)
	ATCふくてっく事務所		
3	材料調達	9/30	古市南幼稚園材料調達
	3名		輪切り、枝等のカット。 (池端、小川、苺田)
	生駒いいもり里山		
4	材料調達	10/8	古市南幼稚園材料調達
	6名		輪切り、枝等のカット。 (池端、小川、苺田、島村、曾我部、松本)
	生駒いいもり里山		
5	木工材料加工	10/15	古市南幼稚園加工
	3名		シンボルツリーの準備 (池端、小川、苺田)
	有馬工房		
6	木工材料加工準備	1/20	病院内学級授業用加工
	17名		材料カット、ペーパーかけで手触り良く、けがの無いよう準備。 (池端、稲住、上田、小川、苺田、鎌田、川北、古場、佐久川、島村、寺岡、杉浦、曾我部、竹田、中北、松本、山本)
	ATCふくてっく事務所		
7	材料調達	5/5	鶴見リレーマラソンの活動材料の調達
	7名		輪切り、枝等のカット。 (池端、上田、小川、苺田、鎌田、曾我部、春岡)
	生駒いいもり里山		
8	スペシャルキッズの集い	2/11	活動内容のポスター展示
	あそびかた研究会		病院内でのボランティア活動をポスターにして他団体に向け発表。他団体との交流もかねて一般の方々に活動内容をアピールする。
	宝塚造形大学		

ものづくり活動		平成29年度収益費用報告 (H29/7/1~H30/6/30)			
事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益	
A-1	あそびかたフェスタ	20,000	20,460	△ 460	
A-2	幼稚園親子木工教室	10,000	16,000	△ 6,000	
A-3	幼稚園秋の遠足	10,000	0	10,000	
A-4	池島ふれあいまつり	25,000	33,875	△ 8,875	
A-5	院内学級授業	5,000	12,822	△ 7,822	
A-6	共生・共走リレーマラソン	6,050	24,865	△ 18,815	
合計		76,050	108,022	△ 31,972	

たいけん活動		平成29年度事業報告 (H29/7/1~H30/6/30)	
B: 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		成果
1	カニご賞味会 & 交流会	2/18	会員間交流 旬の食材をいただきながら他団体との意見交換、近況報告で交流を図る。 和泉、稲住、小川、苺田、古場、曾我部、寺岡親子、春岡 その他、SSN第三の人生 殿村さん、シニアライフSOS 川添さん、お茶の間わいわい 柳 夫妻、eトコプロジェクト 三宅さん、金さん
	9名 eトコ		

ものしり活動		平成29年度事業報告 (H29/7/1~H30/6/30)	
B: 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		成果
	酒蔵めぐり	4/30	会員間交流 お酒好物の会員が集まって春の遠足として、健康(ウォーキング)と嗜好(お酒)を組み 合わせ、楽しい交流会となる。 (池端、和泉、上田、小川、苺田、佐久川、島村、清水夫妻、曾我部、中北、)
	11名 魚崎郷~御影郷		

2. 東大阪部会 (清水会員)

産 経 新 聞

LIFEMASTERS  
人生 マスターズ  
まだまだ、そろそろ

## 制度知ってトラブル防止

### 介護保険で自宅改修

「おばあちゃん、お風呂  
場も広くなって、テレビも  
見られるようになったんや  
て、よかったな」「いやい  
や、それは介護保険の改修  
の対策外ですよ」  
たセミナーが開かれ、トラ  
ブルの事例などが寸劇を交  
えて紹介された。

8月20日、大阪市北区の  
市立住まい情報センター  
で、「必要になる前に知っ  
ておこう! 介護保険によ  
る住宅改修をテーマにし  
たセミナーが開かれ、トラ  
ブルの事例などが寸劇を交  
えて紹介された。

講師を務めたのは、建築  
士や医療、福祉の有資格者  
などで構成するNPO法人  
「ふくてく」(大阪市住  
之江区)のメンバー。この  
日は、支給限度基準額と利  
用者の負担割合、対象とな  
る住宅改修工事の種類「表  
」などについて解説され  
た。

「喜のしり」把握  
内閣府による65歳以上の  
男女を対象にした「高齢者  
の健康に関する意識調査」  
(平成24年)によると、  
「最期を迎えたい場所」と  
して「自宅」は54.6%に  
のぼった。

「ふくてく」による  
と、住宅改修の「要」が、  
事前申請手続きに必要な  
「住宅改修が必要な理由  
書」(ケアマネジャーなど  
が作成する。小川忠雄理事  
長50)は、家族、施工業者  
も交えて、住居本人の生活  
上の問題を事前に明確に  
できるが住宅改修を成功  
に導く鍵と話す。

例えば、「手すりの取り  
付け」では、使う人の身長  
や握力、習慣などで異な  
り、トイレも便座に左から  
か右から座るかで、取り付  
ける位置が変わる。工事が  
完成してから使いにくいと  
分かっても、手遅れになり  
かねない。

空いているスペースに  
手すりを取り付ける例があ  
るが、それは間違い。使う  
人の暮らしを知った上で改  
修しないと、役に立たない  
どころか逆に危険になる  
(ともある)と注意を促す。

介護保険制度による支  
給基準額は要支援、要介  
護区分にかかわらず10  
万円(保険給付は9割ま  
たは8割)。数回に分ける  
ことも可能。

◎即決は避けよう  
住まいに関する相談が年  
間4万7千件以上寄せられ  
る大阪市立住まい情報セン  
ターによると、高齢者の住  
宅改修のトラブルで多い  
のは、工事変更と追加事  
による予算オーバーとい  
う。

業者の説明不足だけでな  
く、工事変更による見積も  
り修正の確認をしていない  
ったり、知り合いの紹介に  
からと書面による契約を交  
わしていないなどの問題  
も。朝田佐代子係長(51)は  
「トラブルを避けるには、  
即決せず、契約書を書面  
できちんと交わす」と呼  
びかける。

トラブルになった場合  
は、公益財団法人「住宅リ  
フォーム・紛争処理支援セ  
ンター」の「住まいのタイ  
プ100」(05700・116・  
100)などへの相談が  
有効という。

介護保険制度で対応出来る住宅改修  
① 手すりの取り付け  
② 段差の解消  
③ 滑り防止や、移動しやすきように床や通路面の材料の変更  
④ 引き戸などへの扉の取り替え  
⑤ 洋式などへの便器の取り替え  
⑥ その他、①~⑤の住宅改修に伴って必要となる住宅改修

※浴室床を滑りにくくするために変更すること  
は対象となるが、浴室の拡張(浴槽から25  
畳に変更)には増築とみなされるため対象外

【浴室の場合】  
浴槽を替える、手すりをつける、  
段差の解消、扉を折れ扉に交換など

改修前

改修後

住宅改修の問題点を寸劇で演じる「ふくてく」のメンバー  
=大阪市北区

東大阪部会		平成29年度事業報告 (H29/7/1~H30/6/30)	
A: 事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
	成果		
1	東大阪市重度身体障害者住宅改修費助成制度適正検証事業	H29年7/1~H30年6/30	障がい者の為の住環境のバリアフリー化を促進し、データ収集分析を踏まえ、施策提言に結びつける。高齢者・障がい者の在宅生活の継続に寄与する共に、施工業者のスキルアップや地域福祉力の育成に寄与する。検証活動(建築士・セラピスト)・事前相談会・報告書作成・データ収集等実施
	東大阪市		H29年4/1~H30年3/31 実績 重度身体障がい者世帯8件(認定・完了)
	東大阪市内		セラピスト検証活動7回 事前相談会実績19件 H29年度報告書作成
2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	H29年7/1~H30年6/30	住宅改修の質的を第一義とし、副次的に不適切な介護保険適用を抑制する。検証活動・申請書類等作成・事例検討会・データ収集等実施
	東大阪市		H29年4/1~H30年3/31 実績
	東大阪市内		検証実績/単独事前及び事後審査241件 併用事前及び事後審査6件 書類審査5件 H29年度報告書作成
3	東大阪市介護保険住宅改修研修会	H29年①8/2、16:00~18:00 ②8/23 18:00~20:00 ③8/16 14:00~16:00	東大阪市住宅改修施工事業者・介護支援専門員等を対象に、介護保険住宅改修制度に関する理解を深めるための研修会を、施工事業者登録説明会と同時に開催する。 共通: H28年度の介護保険住宅改修の現状 ①②「喜ばれる住宅改修をめざして」スムーズな手続き、適切な計画 ③「喜ばれる住宅改修をめざして」住宅改修の理解・理由書作成時の注意点
	東大阪市		参加者: ①施工業者153名 ②74名 ③ケアマネ105事業所
	東大阪市男女共同参画センター6階 イーコラムホール		①②適切・不適切事例の違いが理解され、不適切事例の減少に結びつく。 ③理由書に求められる要件が理解され、不備な理由書の減少に結びつく。
4	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	H29年8/30 ①10:00~11:30 ②13:00~14:30 ③15:00~16:30	健全な制度利用と施工事業者の資質向上への支援、担当職員へ介護保険住宅改修の趣旨を促し、健全な運営には行政体制の確立が必要であることを明らかにする。 1日の中で①③事業者登録研修会2回 ②ケアマネ研修会を実施する。 ・介護保険住宅改修の目的、流れ、役割、事例をもとに説明をおこなった。
	寝屋川市		参加者: 施工事業者+ケアマネ 約100名業者への連絡は全体告知及び掲示のみであり個別連絡は無い。今後この方針は変更しない。
	寝屋川市立保健福祉センター4階健康指導室		・制度の趣旨が理解され、不適切申請・事例の減少に結びつく。 ・ケアマネに住宅改修における役割を再認識する。
5	ワンポイントアドバイス冊子発行		活動なし
6	大阪市住まい情報センター・タイアップ事業	H29年8/20 14:00~16:00	高齢者や家族が住環境改善に主体的に関わる必要性について気づきを促すことを目的とし、「介護保険による住宅改修」をきっかけにして、高齢者や家族が住まいのハード面の問題点に気づくことは家庭内事故の防止に繋がり、また、住環境改善の知識を有することは住宅改修等のトラブルの防止に繋げる。
	大阪市		「住み慣れた家で暮らしていくために 必要になる前に知っておこう! 介護保険による住宅改修」セミナー+寸劇
	大阪市住まい情報センター3階研修ホール		参加者: 81名 産経新聞に掲載

東大阪部会		平成29年度事業報告 (H29/7/1~H30/6/30)	
B: 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
	成果		
1	定例検討会	H29年7月~H30年6月 第3土曜日	東大阪活動における情報の共有と促進。課題と対策の検討。共通認識及びスキルの向上
	検証メンバー全員 ATCふくてっく事務局・大阪市立社会福祉センター会議室		12回開催 検証基準や技術手法を共有し、個人ではなくチームで取り組み適切、且つ、迅速な適正検証活動が推進されている。

## H29年度東大阪検証活動 作業担当報告

月	検証活動日	検証記録	改造助成事前相談会		活動予定	部会			ふくてっく定例会	その他活動予定
	介護住介: 木曜 ゴシックは 水曜 改造助成: 第1・3木曜	集積送信	第3木曜	担当	作成連絡	第3土曜	議事進行	記録	発表担当	
4	6.13.20.27	川北	4/20	川北	4/13 4/27 小川	4/15	川北	小川	4/1磯田 「私の仕事事例」	
5	11.18.25	山本	5/18	山本	5/11 5/25 山本	5/20	山本	寺岡	5/6山本 「検証事例の報告」	
6	1.8.15.22.29	春岡	6/15	後藤	6/8 6/22 川北	6/17	川北	後藤	6/3川北 「東大阪古墳のお話」	・介護住改、改造助成H28 年度報告書等納品
7	6.13. 20.27	後藤	7/20	清水	7/13 7/27 小川	7/15	山本	川北	7/1清水 「牧口邸」	
8	3.10. 17.24.31	清水	8/17	曾我部	8/10 8/24 山本	8/19	川北	小川	8/6 無し	・8/2、23介護住改施工業者登録研修会 ・8/9ケアマネ講習会 ・8/20 住まい情報センター タイアップ事業 ・8/30寝屋川介護住改業者登録研修会2回ケアマネ講習会1回
9	7.14. 21.28	大塚	9/21	曾我部	9/14 9/28 川北	9/16	山本	大塚	9/2後藤 「建具あれこれ」	
10	5.12. 19.26	磯田	10/19	鎌田	10/12 10/26 小川	10/21	川北	鎌田	10/7小川 「健脳エクササイズ」	
11	2.9. 16..22	大橋	11/16	川北	11/9 11/22 山本	11/18	山本	磯田	11/4鎌田 「勝手口段差解消」	H30年度大阪市住まい情報センタータイアップ事業へ応募
12	7.14. 21.27	鎌田	12/21	山本	12/14 12/27 川北	12/16	川北	曾我部	12/2寺岡 「東大阪地名で脳トレゲーム」	
1	11.18.25	曾我部	1/18	大塚	1/11 1/25 小川	1/20	川北	山本	なし	
2	1.8.15.22	寺岡	2/15	寺岡	2/8 2/22 山本	2/17	山本	鎌田	2/3曾我部 「脳活道場」	
3	1.8.15.22	小川	3/15	小川	3/8 3/22 川北	3/17	山本	清水	3/3大塚 「楽楽トライ体操バージョン2」	

東大阪部会		平成29年度収益費用報告 (H29/7/1~H30/6/30)			
事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益	
A-1	東大阪市高齢者・重度障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	3,495,960	諸謝金	2,997,500	752,101
			印刷製本費	19,136	
			通信運搬費	3,669	
			消耗品費	156,112	
			旅費交通費	303,056	
			会議費	12,300	
A-2 A-3	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	788,400	租税公課	2,600	
			支払手数料	13,446	
			雑費	24,440	
A-4	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	108,000	諸謝金	84,000	16,880
			旅費交通費	7,120	
A-6	大阪市立住まい情報センタータイアップ事業	0	諸謝金	71,000	△ 82,861
			旅費交通費	9,420	
			雑費	2,441	
合計		4,392,360	3,706,240	686,120	



### 3. こむねっと部会

(中北会員)

#### ◆総括

計画	実績評価
<p>◆福祉サービス第三者評価事業については、天王谷学園の評価に取り組むほか、新規受注を目指す。</p> <p>◆「地域資源の利活用と地域福祉拠点整備事業」については、大阪NPOセンターとの連携で連続研究会を実施し、その事業具体化を探る。</p>	<p>◆第三者評価事業においては、昨年末に児童養護施設3件の受注を得て、年度内にこれを無事完了した。 いよいよ事業拡大期に指しかかっている。</p> <p>◆「地域資源の利活用と地域福祉拠点整備事業」については、大阪NPOセンターの支援を得て4回の研究会を通じて、社会資源利活用や障がい者の地域生活拠点づくりについて課題を整理するとともに、連携を期待できる人的資源を得た。</p> <p>◆新たに、障がい者居宅の防災支援の取組が始まりつつある。</p>

こむねっと部会		平成29年度事業報告 (H29/7/1~H30/6/30)	
A: 事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 成果
	1-1		福祉サービス第三者評価 大阪府・評価機関 大阪府庁ほか
1-2	福祉サービス第三者評価 福祉事業所 大阪府・兵庫県・奈良県	通年	第三者評価活動 天王谷学園、あおぞら、岸和田学園、長谷川羽曳野学園の4件の評価を完了(児童養護施設)。 ㈱ぐりーん(放課後等デイサービス)およびすみれの里(障害者生活介護・就B)の評価に着手している。
2	地域資源利活用による障がい者地域生活拠点づくり 大阪NPOセンター 近畿圏	下半期	大阪NPOセンターとの連携で研究会を4回シリーズで実施した。 事業推進のために克服すべき課題が概ね明らかとなった。 具体の事業化はなお困難。
3	SCP研究会 BCP研究会参加団体 大阪府内	通年	サービス・コンティニューイティー・プランニング事業 ゆめ風基金、PARTY・PARTY等とともに、災害時BCP研究会に参画してきた(毎月第4金曜日)
4	特殊建築物定期検査報告 医療・福祉事業所 近畿圏	H30年 2月	福井寮の検査報告に取り組んだ 収益事業
5	(仮称)リスクノック ゆめ風基金 大阪府下	下半期	障がい者居宅の防災支援活動 ゆめ風基金と連携して、障がい者の居宅における防災支援をボランティアで実施する仕組みづくりに着手。プレ調査を実施して、活動具体化のための問題点を把握し、仕組みづくりを検討
6	外部連携		諸団体等との連携を深め、ネットワークを構築する (宅老連)研修会・総会等に随時参加 (ボラ協)研修会等の企画に随時参加 (JIA福祉部会)部会・見学会等に参加

こむねっと部会

平成29年度事業報告 (H29/7/1~H30/6/30)

B: 部会活動

(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		成果
1	7月部会	7/15(土)	議題1)天王谷学園の評価活動 議題2)今後の第三者評価事業予定 議題3)新たな事業構想について 議題4・5)前年度事業総括・次年度事業計画
	8名		
	大阪市立社会福祉センター		
2	8月部会	8/19(土)	報告)大阪NPOセンターでの分科会の振り返り 議題1)第三者評価の活動合理化等について 議題2)美原の郷の状況と課題 議題3)地域資源利活用と障害者地域生活拠点づくりについて
	8名		
	大阪市立社会福祉センター		
3	9月部会	9/16(土)	報告)㈱ぐりーん第三者評価受審の件、その他 議題1)天王谷学園自己評価の読み解き 議題2)天王谷学園第三者評価の取組検討
	8名		
	大阪市立社会福祉センター		
4	10月部会	10/21 (土)	報告)①評価機関連絡会議事 ②大阪NPOセンター分科会 議題)天王谷学園評価のメンバー構成・スケジュール等の検討 ぐりーん・美原の郷・奈良県手をつなぐ育成会等の評価計画
	6名		
	大阪市立社会福祉センター		
5	11月部会	11/18 (土)	報告)大阪NPOセンター分科会 議題)天王谷学園訪問調査の振り返り その他の第三者評価の動き
	6名		
	大阪市立社会福祉センター		
6	12月部会	12/16 (土)	報告)①ばあとなあGH計画委員会 ②障がいGHIに関する施策 議題1)天王谷学園への評価報告会について 議題2)阪南福祉事業会の児童養護2件の評価について 議題3~)㈱ぐりーん、その他の第三者評価について
	9名		
	大阪市立社会福祉センター		
7	1月部会	1/20(土)	議題1)阪南福祉事業会2施設の利用者調査・自己評価分析 議題2)同上2施設訪問調査計画 議題3)長谷川羽曳野学園の自己評価読み解き 議題4)㈱ぐりーんの自己評価・利用者調査を概観 その他)インターシッププログラム、障がい者住居減災取組
	11名		
	大阪市立社会福祉センター		
8	2月部会	2/17(土)	議題1)㈱ぐりーん自己評価・利用者調査の分析把握 議題2)長谷川羽曳野学園評価の事前準備 議題3)阪南福祉事業会2施設訪問調査前半をふり返る
	8名		
	大阪市立社会福祉センター		
9	3月部会	3/17(土)	議題)児童養護施設3件の第三者評価
	8名		
	大阪市立社会福祉センター		
10	4月部会	4/14(土)	議題1)平成28-29年度児童養護施設評価(5件)の振り返り 議題2)㈱ぐりーんの評価について 議題3)放デイ光すみよしの見学
	5名		
	大阪市立社会福祉センター		
11	5月部会	5/19(土)	報告)(仮称)リスクノック、ばあとなあ 議題)①第三者評価基準ガイドラインの改定について ②㈱ぐりーんの評価計画と独自作成の評価基準 ③第三者評価事業の拡大に向けて
	7名		
	大阪市立社会福祉センター		
12	6月部会	6/16 (土)	報告)リスクノック活動 議題1)今期の活動振り返りと今後の見通し 議題2)㈱ぐりーん評価計画 議題3)すみれの里第三者評価について 議題4)美原の郷・たかとの第三者評価について
	7名		
	大阪市立社会福祉センター		

こむねっと部会		平成29年度収益費用報告 (H29/7/1~H30/6/30)			
事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益	
B-1-1~12	こむねっと部会 共通経費	①会議室室料	0	12,300	△ 16,242
		②支払手数料	0	3,942	
A1	第三者評価事業 天王谷学園 岸和田学園 あおぞら 長谷川羽曳野学園 ぐりーんの一部	事業収入	1,269,700		
		配分活動費(源泉税含)		897,250	
		印刷製本費		25,600	
		旅費交通費		239,900	
		通信費		5,880	
		消耗品費		1,096	
		租税公課		400	
		雑費		24,200	
	研修費		147,500		
	( 小計 )	1,269,700	1,341,826	△ 72,126	
A2	地域資源の利活用による 障がい者地域生活拠点構想	0	0	0	
A3	SCP事業	0	0	0	
A4	特殊建築物調査 (福井寮)	138,600	78,130	60,470	
A5	リスクノック	0	3,920	△ 3,920	
A6	外部連携	0	0	0	
合計		1,408,300	1,440,118	△ 31,818	

こむねっと部会の期首収支計画では約210万円の収入を見込んでいたが、決算では約2/3の結果となっている。

第三者評価事業の収入は前年度実績(¥1,230,136)を若干上回り、期首に予算計上した130万円をほぼ達成している。第三者評価にかかる活動費配分もほぼ前年通りであったが、評価調査やの養成・継続研修の支出が前年度より約10万円増加している。

特殊建築物等の定期検査や施設保全調査の、予定していた取組が繰り延べとなり、そこに期待していた収益が減少した結果、全体としては若干のマイナスに留まっている。



大阪NPOセンターにて開催した分科会

## 4. NPO認証15周年記念事業

(中北会員)

ふり返れば、ふくてっくは1993年(平成5年)7月に「福祉機器・住宅研究会」という名の有償ボランティア団体としてうぶ声を発しました。高齢者・障がい者が日常生活を安心・安全に送ることが出来るよう、生活用具や住環境の改善工夫をテーマとしていました。

当時は介護保険制度もなく、巷の大工さんや設計士は、まだバブルの名残もあって繁盛していたせいも、ふくてっくの活動は希少で注目を浴びたものです。他の有償ボランティア団体の多くが地域での助けあい活動であったことに対比して、テーマ型であったことや、男性が多く参加していたことなども珍しかったといわれています。

その後、1997年(平成9年)に介護保険法が制定され、やがてリフォームブームもあって、高齢者・障がい者の住宅改修もすっかり民業が担うようになり、ふくてっくの住宅改修も少しづつ低調になり始めました。一方、発足時は「ものづくり」を主として活動テーマとしていた当会も、やがて福祉に対する思いが拡がり始めていました。会名称を「福祉と住環境を考える会(愛称:ふくてっく)」としたのもこのころです。しかしながら、活動量の減少傾向は次第に深刻な状況になり、このままでは会の存続も危ぶまれるようになりました。

何とかしなければ、という危機感の中から会のミッションを再構築するとともに、持続可能な組織づくりをめざして、狭い意味でのボランティアからの脱皮を決断したのです。

こうして、ふくてっくは2002年(平成14年)9月にNPO法人認証を受け、法人格を取得し、会の名称を正式に「ふくてっく」と改めたのです。

それからの、ふくてっくの発展はめざましいものがあります。ボランティア精神はそのままに、コミュニティ・ビジネスを展開してきました。東大阪部会は既に確固たる事業の仕組みを確立して、社会的にも大きな評価を得るとともに、ふくてっくの経営を支えています。

こむねっと部会は、今日的な社会課題の数々に着目して貪欲に新規事業の開拓を模索しています。一方、ふくてっくの集いは、会発足以来のモノづくりと誰もが参加できる場づくりをテーマに会員の拠り所となっています。この3本の柱が、ふくてっくの大きな強みです。

2017年は法人格取得15周年にあたり、NPO法人格取得を契機に目覚ましく活動してこれたことを祝うとともに、今後の益々の発展を祈念してシンポジウムを開催しました。

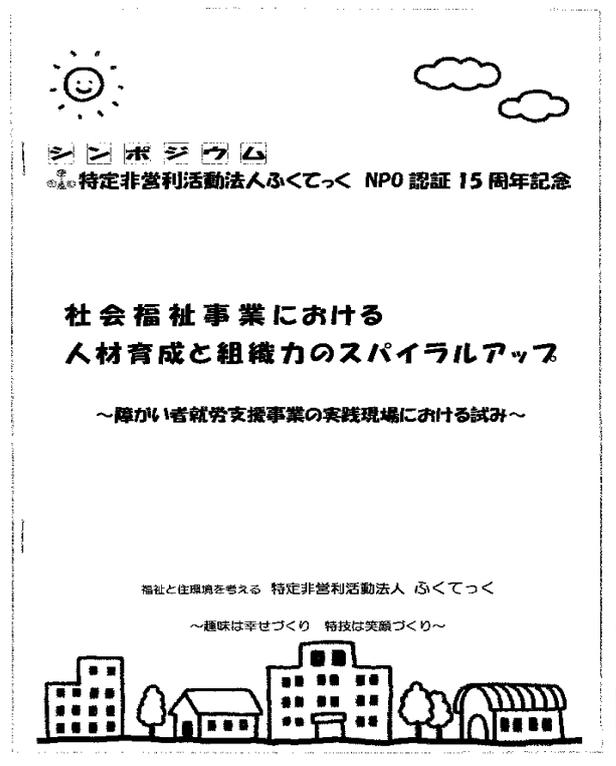
テーマは、社会福祉事業が直面している先端課題として、①表面課題としては障がい者の就労支援の問題、そしてその実現にむけて課題となる②職員の育成や組織力の構築を取り上げました。講師には、前年に語り草となった弾丸ツアーで訪問した海望福祉会の大崎総合施設長を招へいしたところ、即座に快諾していただきました。①②とくに②のテーマは、社会福祉事業者には普遍的な課題ですので、大阪の多くの法人・団体にも聞いていただきたいと念じ、多方面に案内をしました。この機会に、改めてふくてっくを知って頂き、ネットワークを広げて行きたいと考えたからです。

開催日時 平成29年10月1日  
会場 大阪市立住まい情報センター  
テーマ 社会福祉事業における人材育成と  
組織力のスパイラルアップ

講演会講師  
社会福祉法人 海望福祉会  
総合施設長 大崎雅子氏

協賛団体  
社会福祉法人 奈良県手をつなぐ育成会  
社会福祉法人 そうそうの杜  
特定非営利活動法人 ちゅうぶ  
特定非営利活動法人 自立生活夢宙センター  
特定非営利活動法人 ムーブメント  
特定非営利活動法人 ハニー・ビー

後援団体 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会  
社会福祉法人 西宮市社会福祉協議会  
特定非営利活動法人 大阪NPOセンター  
シンポジウム参加者 56名 うちふくてっく会員 27名  
懇親会参加者 31名 うちふくてっく会員 22名  
懇親会会場 ホテルグランビァ スカイダイニングアブ(会費制)



シンポジウムでは、海望福祉会が実践している障がい者中間就労(ユニバーサル雇用)の取り組みと、それをなし得た独特の人材育成の仕組が、氏のきびきびとした淀みないスピーチで披露された。講演後の質疑応答では、ユニバーサル雇用そのものについての障がい福祉における課題や、受け入れる側の高齢福祉の課題についての質問や、本シンポジウムのメインテーマである職員育成と働きやすき意欲が育まれる職場づくりに関する質問、そして、そもそも大崎さんって何者か?どのようにストレスを緩和なさっているのか?といった質問まで飛び出し、わきあいあいとした空気の中で充実した時間を過ごすことができました。

その雰囲気は懇親会にも持ち込まれ、講師や来賓の方々と交えて盛り上がり、まさに、ふくてつ15周年を祝うにふさわしい一夜でした。

翌朝、大崎氏に大阪での障がい者支援の様子もご紹介しようと、東大阪のパンジー(創思苑)とばあとなあの事業所をご案内しました。大阪の障がい者支援の特徴の一つは、障がい当事者が中心となっている活動です。果たしてご理解いただけただろうか……。

なお、記念事業の収支については「財務諸表の注記」(16ページ)に示すとおりです。



シンポジウム後の記念写真

## 2号議案 平成29年度決算報告

(中北事務局長)

平成29年7月1日から平成30年6月30日まで

### 活動計算書

(単位:円)

科目	決算金額	期首予算額	前年決算額
<b>I 経常収支</b>			
<b>1.受取会費</b>			
正会員受取会費	365,000	390,000	370,000
通信会員受取会費	1,500	1,500	1,500
終身通信会員受取会費	500		
学生会員受取会費	0	1,500	3,000
預り金		28,068	
例会参加受取会費	2,000	5,000	3,000
受取会費計	369,000	426,068	377,500
<b>2.受取寄附金</b>			
協賛金	0	0	0
受取寄附金	65,068	0	30,000
受取寄附金計	65,068	0	30,000
<b>3.事業収益</b>			
ふくてつのつどい	76,050	96,000	80,000
東大阪部会	4,392,360	4,108,000	5,294,160
こむねっと部会	1,408,300	2,100,000	1,369,736
NPO15周年事業参加会費収入	159,500		
事業収益計	6,036,210	6,304,000	6,743,896

<b>4.その他収益</b>				
受取利息	69		1,420	72
雑収益	809		1,500	164,310
NPO15周年事業参加会費収入			80,000	
その他収益計		878	82,920	164,382
経常収益計		6,471,156	6,812,988	7,315,778
<b>II 経常費用</b>				
<b>1.事業費</b>				
(人件費)				
給料、手当(事業)	70,000		284,500	176,000
人件費計		70,000	284,500	176,000
(その他経費)				
材料費	8,062		35,000	16,452
業務委託費	78,130		150,000	0
諸謝金	4,083,161		4,263,000	5,134,500
印刷製本費(事業)	48,192		18,000	18,024
会議費(事業)	69,840		20,000	34,100
旅費交通費(事業)	612,376		728,000	602,240
通信運搬費(事業)	13,709		13,000	4,206
消耗品費(事業)	165,714		131,900	169,706
租税公課(事業)	3,200		600	2,800
研修費	147,500		70,000	55,000
支払手数料(事業)	17,658		30,000	19,602
雑費(NPO15周年事業)	268,509		300,000	567,995
雑費			86,500	
その他経費計		5,516,051	5,846,000	6,624,625
事業費計		5,586,051	6,130,500	6,800,625
<b>2.管理費</b>				
(人件費)				
給与 手当	122,400		124,800	122,400
通勤費	32,640		33,280	32,640
人件費計		155,040	158,080	155,040
(その他経費)				
諸謝金	76,822		56,000	65,685
印刷製本費	192		17,000	1,032
会議費	72,650		64,000	72,520
旅費交通費	560			0
通信運搬費	62,601		62,000	64,480
消耗品費	47,042		1,500	4,080
地代家賃	412,260		412,260	412,260
接待交際費	0		0	6,588
減価償却費	0		1,800	4
保険料	35,840		35,840	35,840
諸会費	27,080		44,000	27,000
慶弔費	0		0	1,382
租税公課	70,009		100,000	218,809
支払手数料	31,188		32,000	30,836
雑費	40,489		60,000	147,851
その他経費計		876,733	886,400	1,088,367
管理費計		1,031,773	1,044,480	1,243,407
経常費用計			6,617,824	7,174,980
当期経常増減額			△ 146,668	△ 361,992
<b>III 経常外収益</b>				
経常外収益計		0	0	0
<b>IV 経常外費用</b>				
経常外費用計		0	0	0
<b>税引前当期正味財産増減額</b>				
当期正味財産増減額		△ 146,668	△ 361,992	△ 728,254
前期繰越正味財産額		6,677,428	6,677,428	7,405,682
次期繰越正味財産額		6,530,760	6,315,436	6,677,428

H29年度は、当初予算において約40万円の赤字を想定していましたが、結果的には約15万円の赤字に納まりましたNPO15周年記念事業会計がマイナス17万円余りであることを考えると上々の結果です。今期も、東大阪部会の活動収支が会の健全な運営維持に寄与しています。しかしながら、東大阪部会の「ワンポイントアドバイス」(予算経費150,000円)NPO15周年事業の報告書作成(予算経費50,000円)が未消化に終わったことなど、決して喜ばしいことではなく、安閑とはしておられません。

### 財産目録

平成30年6月30日現在

(単位:円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	84,581		
三菱UFJ銀行梅田支店	5,539,477		
ゆうちょ銀行	951,288		
郵便振替口座	127,500		
流動資産合計		6,702,846	
2. 固定資産			
什器備品			
	2		
保証金			
	137,412		
固定資産合計		137,414	
資産の部合計			6,840,260
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金			
	300,000		
預り金			
	9,500		
流動負債合計		309,500	
負債の部合計			309,500
正味財産			6,530,760

### 貸借対照表

平成30年6月30日現在

(単位:円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6702846		
流動資産合計		6702846	
2. 固定資産			
什器備品	2		
保証金	137412		
固定資産合計		137,414	
資産の部合計			6,840,260
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金	300000		
預り金	9500		
流動負債合計		309500	
負債の部合計			309,500
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,677,428	
当期正味財産増減額		△ 146,668	
正味財産の部合計			6,530,760
負債・正味財産の部合計			6,840,260

## 財務諸表の注記

### 1.重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正NPO法人会計基準協議会)によつて  
います。

(1)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2)消費税の会計処理

消費税は税込経理により処理しています。

### 2.事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下のとおりです。

(単位:円)

	ふくてつくのつ どい	東大阪 部会	こむねっと 部会	NPO15	事業部門 合計	管理部門 合計	合 計
I 経常収益							
1.受取会費					0	369,000	369,000
2.受取寄附金					0	65,068	65,068
3.事業収益	76,050	4,392,360	1,408,300	159,500	6,036,210	0	6,036,210
4.その他収益					0	878	878
経常収益計	76,050	4,392,360	1,408,300	159,500	6,036,210	434,946	6,471,156
II 経常費用							
1.人件費							
給与・手当	70,000				70,000	122,400	192,400
通勤費					0	32,640	32,640
(人件費計)	70,000	0	0	0	70,000	155,040	225,040
2.その他費用							
材料費	8,062				8,062	0	8,062
業務委託費			78,130		78,130	0	78,130
諸謝金		3,152,500	897,250	33,411	4,083,161	76,822	4,159,983
印刷製本費		19,136	25,600	3,456	48,192	192	48,384
会議費		12,300	12,300	45,240	69,840	72,650	142,490
旅費交通費	28,960	319,596	243,820	20,000	612,376	560	612,936
通信運搬費		3,669	5,880	4,160	13,709	62,601	76,310
消耗品費		156,112	1,096	8,506	165,714	47,042	212,756
地代家賃					0	412,260	412,260
保険料					0	35,840	35,840
諸会費					0	27,080	27,080
租税公課		2,600	400	200	3,200	70,009	73,209
研修費			147,500		147,500	0	147,500
支払手数料		13,446	3,942	270	17,658	31,188	48,846
雑費	1,000	26,881	24,200	216,428	268,509	40,489	308,998
(その他経費計)	38,022	3,706,240	1,440,118	331,671	5,516,051	876,733	6,392,784
経常費用計	108,022	3,706,240	1,440,118	331,671	5,586,051	1,031,773	6,617,824
当期経常増減額	△ 31,972	686,120	△ 31,818	△ 172,171	450,159	△ 596,827	△ 146,668

### 3.固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器備品	427,590	0	0	427,590	2
合計	427,590	0	0	427,590	2



# 4号議案 平成30年度活動計画および収支計画

## 1. ふくてっくのつどい

(小川会員)

ものづくり活動		平成30年度事業計画 (H30/7/1~H31/6/30)	
<b>A: 事業活動</b> (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
	期待する成果		
1	あそびかたフェスタ あそびかた研究会 大阪市立総合医療センター 大会議室	8/26	入院中の子供たち、退院した子供たち、通院している子供たちを対象の自由木工の体験してもらう。 制限ある病院生活に、自然のものを触れてもらい、楽しく家族、兄弟とものづくりを体感してもらう。
	木のふれあい体験 もくの会 ATCホール		木とふれあい、自由な発想で工作を体験してもらう。 ひとつの作品をさまざまな木材を使って、自由にオリジナル品を作成してもらいものづくりの楽しさを知ってもらう。
	幼稚園親子木工教室 羽曳野市立幼稚園 幼稚園(羽曳野市)		10/24
4	池島ふれあいまつり 社会福祉法人海の子の家 池島公園	11/23	工具体験と自由木工 例年同様、自由に木工体験してもらう。毎年来てくれる子供たちのために、その笑顔を見るために継続活動の一年締めめの活動
	院内学級木工授業 あそぼっくる 大阪市立総合医療センター		1月予定
6	共生・共走リ-マラソン マツサク 花博鶴見緑地公園	5月下旬	障がい児に工作を体験してもらう。 例年同様、自由に木工体験してもらう。毎年来てくれる子供たちのために、その笑顔を見るために継続活動し年度最後のふくてっくのものづくり祭り。
	地域の木工ふれあい こどもホスピス TSURUMIこどもホスピス		未定
<b>B: 部会活動</b> (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名 参加者・人数 場所	日付 期間	事業目的・内容等
	期待する成果		
1	つどい集会 各8名参加予定 ATC事務局	2回/年	年間予定確認と活動内容の確認 A:事業活動についての協議、新たな試み(作品)、新規活動の場の開拓など会員間の意識共有する集会。
	里山材料調達 各5名参加予定 生駒いいもり山		3回/年
3	材料加工作業 各8名参加予定 ATC事務局	2回/年	木工材料の加工作業 加工作業(ペーパーかけや仕上げ)の作業とサンプル作成の場。

ものづくり活動		平成30年度収益予算計画 (H30/7/1~H31/6/30)		
事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益
A1	あそびかたフェスタ	20,000	18,000	2,000
A2	木のふれあい体験	6,000	14,000	△ 8,000
A3	幼稚園親子木工教室	20,000	16,000	4,000
A4	池島ふれあいまつり	25,000	25,000	0
A5	院内学級木工授業	5,000	10,000	△ 5,000
A6	共生・共走リレーマソン	6,000	20,000	△ 14,000
A7	地域の木工ふれあい	0	10,000	△ 10,000
B2	里山材料調達(300円×5人×3回)	0	4,500	△ 4,500
合計		82,000	117,500	△ 35,500

たいけん活動		平成30年度事業計画 (H30/7/1~H31/6/30)	
B: 部会活動		(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)	
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	参加者・人数 場所		期待する成果
1	カニご賞味会&交流会	1回/年	異業種間&会員間交流
	10名参加予定		ふくてつくが誇る慰労企画として、会員以外の異業種交流の場として情報交流の場として期待する。
	eトコ(東成区)		

ものしり活動		平成30年度事業計画 (H30/7/1~H31/6/30)	
B: 部会活動		(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)	
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	参加者・人数 場所		期待する成果
1	大人の社会見学	4回/年	会員間交流(知識習得を通じて)
	各8名参加予定		ふくてつくの季節の遠足目的に、担当者を決め自由に興味のあるものを紹介し、みんなで遊びを通して交流の場として期待する。

## 2. 東大阪部会

(清水会員)

東大阪部会は、東大阪の委託事業として始まった適正検証事業も13年目にはいりました。H29年度4月より改造費助成から高齢者が除かれましたが問題提起やその克服提案を繰り返し、少しずつではありますが、その成果も確認する事ができています。今年度も継続して事業を展開し、私たちのような第三者機関が検証する必要のない行政システムと地域福祉力が連携して支える社会を目指します。H28年度からスタートした寝屋川市への支援事業も、介護支援専門員の研修会も登録者研修の一環として位置づけられました。

また、市民の住環境改善に当事者としての気づきを促すため、大阪市住まい情報センターとのタイアップ事業「住み慣れた家で暮らしていくために、介護保険による住宅改修」講座を開催、地域に出向いての市民啓発講座「たかが手すり・されど手すり」「介護保険の住宅改修」を実施します。

東大阪部会		平成30年度事業計画 (H30/7/1~H31/6/30)	
A: 事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対する事業活動)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
	期待する成果		
1	東大阪市重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	H30年 7/1~ H31年 6/30	目的: 高齢者・障がい者の為の住環境のバリアフリー化を促進し、データ収集分析を踏まえ、施策提言に結びつける。
	東大阪市		質の良い住環境改善と、高齢者・障がい者の在宅生活の継続。
	東大阪市内		
2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	H30年 7/1~ H31年 6/30	目的: 対象者の自立支援や事故防止、住宅改修の質的向上と、不適切な介護保険適用を抑制する。
	東大阪市		介護支援専門員の質的向上、施工業者の不正の抑止と資質の向上を誘導する。
	東大阪市内		
3	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	H30年 9/7	目的: 健全な制度利用と、施工事業者・介護支援専門員の資質向上への支援
	寝屋川市		施工業者、介護支援専門員の資質の向上を図ることにより、質の高い住環境のバリアフリー化を促進する。
	寝屋川市立保健福祉センター		
4	大阪市住まいの情報センター・タイアップ事業	H30年 7/8	目的: 高齢者や家族が住環境改善に主体的に関わる必要性について気づきを促すことを目的としています。 内容: 「住み慣れた家で暮らしていくために 介護保険による住宅改修 トラブル回避術！」スライドと寸劇の組み合わせでトラブル事例を紹介、手すりサンプルの体験、個別相談会5件
	市民		「介護保険による住宅改修」をきっかけにして、高齢者や家族が住まいのハード面の問題点に気づくことは家庭内事故の防止に繋がります、また、住環境改善の知識を有することは住宅改修等のトラブルの防止に繋がります。
	大阪市住まい情報センター 3階研修ホール		
5	大阪市住まいの情報センター・出前講座	H30年 7月~ H31年 3月	目的: 高齢者や家族が住環境改善に主体的に関わる必要性について気づきを促すことを目的としています。 テーマ: 「たかが手すり・されど手すり」「介護保険の住宅改修」 7/25 生魂女子会/生魂会館 「たかが手すり・されど手すり」 8/2 阿倍野老人センター/同左「たかが手すり・されど手すり」 8/31 福島老人センター/同左「介護保険の住宅改修」
	市民		身近なテーマから、住環境改善の知識を有し主体的に関わるきっかけづくり
	大阪市内		
6	ワンポイントアドバイス冊子発行	H30 年度 後半 予定	東大阪市内に所属する介護支援専門員を支援するために、住宅改修アドバイス集を作成する。500部発行
			介護支援専門員が積極的に住宅改修等に関わり、適切な計画のもと、高齢者や障がい者が安全で安心した暮らしを実現する。

東大阪部会

平成30年度事業計画 (H30/7/1~H31/6/30)

B: 部会活動

(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	参加者・人数 場所		期待する成果
1	定例会(月1回開催)	H30年 7月~ H31年 6月 第3 土曜日	目的: 東大阪部会活動における情報の共有と促進 内容: 活動の報告・連絡・検討
	検証メンバー 大阪市立社会福祉センター・ ATCふくてつく事務局他		チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する

H30年度東大阪検証活動 作業担当予定

月	検証活動日	検証記録	改造助成 事前相談会		活動 予定	部会			ふくてつく 定例会	その他 活動予定 および備考
	介護住介: 木曜 ゴシックは 水曜 改造助成: 第1・3木曜	集積 送信	第3 木曜	担当	作成 連絡	第3 土曜	議事 進行	記録	発表担当	
4	5.12.19.26	鎌田	4/19	鎌田	4/12 4/26 小川	4/21	川北	鎌田	4/7 大塚「らくらくト ライ体操ガーデン1」	4/12改造/活動日
5	2.10.17 .24.31	清水	5/17	小川	5/10 5/24 山本	5/19	山本	寺岡	5/12 小川	5/2活動日 5/10(締切5/2) 5/31改造/活動日
6	7.14.21.28	曾我部	6/21	曾我部	6/14 6/28 川北	6/16	山本	曾我部	6/2 曾我部	・介護住改、改造助成 H29年度報告書等納品
7	5.12.19.26	春岡	7/19	磯田	7/12 7/26 小川	7/21	川北	春岡	7/7 寺岡	・7/8(日)住まい情報センター タイアップ事業 ・7/25出前講座
8	2.9.16 .23.30	大塚	8/16	清水	8/9 8/23 山本	8/18	川北	大塚	8/4なし	・8/1.8.22介護住改登録 説明会及び研修会、ケアマ ネ講習会 ・8/2.31出前講座
9	6.13.20.27	川北	9/20	川北	9/13 9/27 川北	9/15	山本	川北	9/1 川北	9/7寝屋川研修会
10	4.11.18.25	寺岡	10/18	寺岡	10/11 10/25 小川	10/20	川北	清水	10/6 春岡	
11	1.8.15 .22.29	大塚	11/15	山本	11/8 11/22 山本	11/17	山本	大塚	11/10 磯田	11/29(締切11/22)
12	6.13.20	磯田	12/20	春岡	12/13 川北	12/15	川北	山本	12/1 鎌田	
1	10.17.24.31	山本	1/17	山本	1/10 1/24 小川	1/19	山本	磯田	1/4なし	1/10(締切1/4) 1/31改造/活動日
2	7.14.21.28	後藤	2/21	後藤	2/14 2/28 山本	2/16	川北	後藤	2/2 後藤	
3	7.14.20.28	小川	3/20	清水	3/14 3/28 川北	3/16	山本	小川	3/2 山本	3/20(水)事前相談会・改 造/活動日

東大阪部会

平成30年度予算計画 (H30/7/1~H31/6/30)

事業・部会 No.	事業名	収益	費用		差益
A-1	東大阪市重度障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	700,000	600,000		100,000
			諸謝金	550,000	
			旅費交通費	50,000	
			消耗品費	0	
A-2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	3,600,000	3,070,000		530,000
			諸謝金	2,600,000	
			旅費交通費	350,000	
			消耗品費	70,000	
			印刷製本費	10,000	
			通信運搬費	5,000	
			会議費	15,000	
			租税公課	5,000	
			支払手数料	15,000	
A-3	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	108,000	103,000		5,000
			諸謝金	80,000	
			旅費交通費	18,000	
			消耗品費	5,000	
A-4 A-5	大阪市住まい情報センター ・タイアップ事業 ・出前講座	0	150,000		△ 150,000
			諸謝金	110,000	
			旅費交通費	25,000	
			通信費	5,000	
			消耗品費	10,000	
A-6	ワンポイントアドバイス	0	150,000		△ 150,000
			諸謝金	100,000	
			旅費交通費	30,000	
			消耗品費	20,000	
合 計		4,408,000	4,073,000		335,000
			諸謝金	3,440,000	
			旅費交通費	473,000	
			消耗品費	105,000	
			通信費	5,000	
			印刷製本費	10,000	
			通信運搬費	5,000	
			会議費	15,000	
			租税公課	5,000	
			支払手数料	15,000	

7.6%

### 3. こむねっと部会

(中北会員)

A: 事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			期待する成果
1-1	福祉サービス第三者評価①	H30年 7月～ H31年 6月	大阪府地域福祉推進審議会 福祉サービス第三者評価分科会・同基準等部会 評価機関連絡会
	大阪府推進審議会と 評価機関連絡会		引き続き、大阪府の第三者評価事業振興に寄与する。 審議会委員は平成30年12月まで、連絡会代表幹事は平成31年3月末までの任期とする旨公言してきたが、大阪府社協がH30年度末をもって第三者評価事業を撤退することになった。 大阪の第三者評価事業の大きな転機となる事態を迎えており、当面役割を継続せざるを得ない。 大阪の第三者評価全体を推進する一翼を担って行きたい。
	大阪府		
1-2	福祉サービス第三者評価②	H30年 7月～ H31年 6月	ふくてっく第三者評価事業の拡大発展
	評価機関体制整備		前期からの事業拡大機運を継承して、いよいよ本格的な事業拡大に向けて体制整備するとともに、具体的な受注活動を開始する。 ・受審を勧める資料を携えて施設訪問活動を展開する。 ・受注単価の向上と評価活動の合理化を図り、活動費の適正化を実現する。 ・評価機関としての質の向上に努める。
1-3	福祉サービス第三者評価③	H30年 7月～ H31年 6月	具体(複数)の評価活動を実施する。
	福祉サービス事業所 大阪・兵庫・奈良の各府県		1.楸ぐりーん 2.すみれの里 3.美原の郷 4.奈良県手をつなぐ育成会 その他、受注(予定も含む)の評価活動を推進する。
2	地域資源利活用による 障害者の地域生活拠点 構想	H30年 7月～ H31年 6月	空地・空家の有効活用によって、障がい者の地域生活拠点(GH・日中活動の場)を効果的に整備する。
	福祉事業者 大阪を中心とする近畿圏		前期に把握した課題や、人的ネットワークを活かし、 障害者福祉施策の新しい流れにも沿って事業展開の可能性を探るほか、具体のニーズにも対応する。 ただ、好ましからざる開発事業と混同されないよう注意が必要。
3	SCP研究会	H30年 7月～ H31年 6月	災害時BCP研究会
	ゆめ風基金、 ばあていばあてい他 (福祉事業の継続性) 概ね大阪府下		ゆめ風基金主導の「災害時障害サービスBCP研究会」に 引き続き参加して具体の事業所のBCP立案に携わるとともに、ネットワークを拡大して いく中で、BCPとの違いを明確にして、SCPの事業化を目指す。
4	医療・福祉事業環境整備 (施設環境の継続性)	H30年 7月～ H31年 6月	特殊建築物定期検査報告と連動した中長期保全計画
	医療・福祉事業法人 大阪を中心とする近畿圏		本年度に、たかとりワークス・やすらぎの丘について 具体的な活動を企画・開始する。
5	(仮)リスクノック	H30年 7月～ H31年 6月	災害発生時における障がい者生活空間の安全化を支援
	障がい者個人および その支援団体等 (ゆめ風基金との連携) 概ね大阪府下		災害発生時に貴重な命を失うことを避ける。 ①障がい者の防災意識向上 ②支援体制の構築 ③市民の活動参加と地域共生観の向上

福祉サービス第三者評価事業については、活動開始から実に13年を経て、ようやく事業として成立する兆しが見えてきた。当機関はこれまでの実績は少ないながら、独特の丁寧な評価手法を堅持して、評価機関としての高い質を自負している。また中北が地域福祉審議会・同福祉サービス第三者評価部会委員のほか、評価機関連絡会の座長を長年に亘って務めるなど、大阪の第三者評価事業に欠かせない存在となっている。このたび大阪府社協がH31.3をもって第三者評価事業から撤退することが決まり、益々その重責が深まりつつある。力量を超えた性急な拡大は慎みつつ、堅実に事業を成長させてゆきたい。その他事業についても、無理はせず一歩一歩確実に歩を進める。

(仮称)リスクノックは、まだ活動方針や体制もままならぬが、近年の災害多発状況の中で、まさに当を得た着想といえる。BCP研究との連携や、SCP事業との関係性も保ちながら、歩を進めてゆきたい。社会資源活用による福祉環境整備や、福祉施設の環境保全など、ハードに関わる分野は、本来当会メンバーの得意とする分野であり、そこに社会福祉課題をかぶせた着想は、その具現化は容易くはないが、いくつかの案件について検討段階にあり、早晚その手がかりが見いだせる手ごたえを感じている。またこの分野においては無視できない収益性が見込めるところが大きい。

B: 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名 参加者・人数 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			期待する成果
1	7月部会	7/7	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者	7/21	①第三者評価の動向(指導者研修の振り返り)
	大阪市立社会福祉センター	7/27	②榊ぐりーん・すみれの里 事前資料の把握
2	8月部会	8/18	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者		①榊ぐりーん・すみれの里 訪問調査について
	大阪市立社会福祉センター		②第三者評価事業拡大に向けた取組 ③内部研修の計画 ④美原の郷(評価基準の説明会企画) ⑤奈良県手をつなぐ育成会(ワークショップ企画)
3	9月例会	9/15	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者		①榊ぐりーん 評価決定会議
	大阪市立社会福祉センター		②すみれの里 訪問調査事前検討 ③美原の郷および奈良県手をつなぐ育成会 第三者評価の方針検討 ④10月部会(研修会)の企画
4	10月部会	10/20	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者		
	大阪市立社会福祉センター		
5	10~11月 研修会	未定	シンポジウム
	ふくつてく会員・外部招聘		テーマ:未定
	未定		
6	11月部会	11/17	
7	12月部会	12/15	30年度上半期をふり返る
8	1月部会	1/19	
9	2月部会	2/19	
10	3月部会	3/16	
11	4月部会	4/19	
12	5月部会	5/17	
13	6月部会	6/21	30年度をふり返る

今期の部会は、第三者評価事業が中心となる。各評価事業の進捗にあわせて臨機にテーマ設定をする。

その中で、実務遂行の会議だけではなく、実務に関連するテーマを選んで研修の充実を図り、評価機関・評価調査者の質の向上にも取り組みます。

こむねっと部会		平成30年度収支計画 (H30/7/1~H31/6/30)			
事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益	
A1-1	第三者評価 審議会・連絡会	0	0	0	
A1-2	福祉サービス第三者評価事業拡大の取り組み	0	PR資料配布作成 郵送等経費 50,000	△ 50,000	
	福祉サービス 第三者評価 事業実務	㈱ぐりーん(契約済)	312,000	活動費・諸経費 280,000	32,000
		すみれの里(契約済)	283,500	活動費・諸経費 255,000	28,500
		美原の郷	550,800	活動費・諸経費 495,000	55,800
		奈良県手をつなぐ育成会	712,800	活動費・諸経費 641,000	71,800
		その他今期中の新規案件	400,000	活動費・諸経費 360,000	40,000
		研修費	0	受講料補助 100,000	△ 100,000
A2	地域資源活用障がい者地域生活拠点 構想	200,000	活動費・諸経費 160,000	40,000	
A3	SCP(BCP)	0	活動費・諸経費 0	0	
A4	医療・福祉施設環境保全 (特建調査を含む)	800,000	業務委託費 活動費・諸経費 640,000	160,000	
A5	リスクノック	0	活動費・諸経費 30,000	△ 30,000	
共通	各種活動、ネットワーク構築	0	20,000	△ 20,000	
共通	情報発信・資料印刷経費	0	40,000	△ 40,000	
共通	会議費	0	30,000	△ 30,000	
共通	シンポジウム経費	0	50,000	△ 50,000	
				0	
	合計	3,259,100	3,151,000	108,100	

3.3%

H30年度のこむねっと部会収支計画は、H29年度実績の2倍を超える目標設定となっておりますが、収入の部にあげた項目のほとんどが既に契約済、あるいは承認を得ているものであり、堅実な見通しに立っています。第三者評価の受注如何によってはむしろより増加する可能性が高い見通しです。A4については、H31年度に繰り越しとなる予定ですが、ふくてつく年度には納まる可能性があります。問題は、これらを真つ当うに遂行できるかということです。第三者評価事業の伸長が顕著ですが、当面(今後2~3年)は評価機関としての体制確立と評価調査者への処遇改善に傾倒し、持続可能な事業体制を確立します。さらに、リスクノックその他、そもそも収入さえ期待しない社会貢献事業も進めてゆきますが、建築調査その他の得意分野での収益性を向上させながらバランスを図ってまいります。いずれにしても、H30~H32年度を事業拡大期と位置付け、この間は収益を上げることより、体制の充実とメンバーへのリターン強化、事業の継続性確保に努めます。

# 5号議案 平成30年度 活動予算計画

平成30年7月1日から平成31年6月30日まで  
活動計算書

単位:円

科目	金額			前年決算額
<b>I 経常収支</b>				
<b>1.受取会費</b>				
正会員受取会費	370,000			365,000
通信会員受取会費	1,500			1,500
終身通信会員受取会費	500			500
学生会員受取会費	0			0
例会参加受取会費	3,000			2,000
受取会費計		375,000		369,000
<b>2.受取寄附金</b>				
協賛金	0			0
受取寄附金	0			65,068
受取寄附金計		0		65,068
<b>3.事業収益</b>				
ふくてっくのつどい	82,000			76,050
東大阪部会	4,408,000			4,392,360
こむねつと部会	3,259,100			1,408,300
NPO15周年事業参加会費収入				159,500
事業収益計		7,749,100		6,036,210
<b>4.その他収益</b>				
受取利息	70			69
雑収益	800			809
その他収益計		870		878
経常収益計			8,124,970	6,471,156
<b>II 経常費用</b>				
<b>1.事業費</b>				
(人件費)				
給料、手当(事業)	75,000			70,000
人件費計		75,000		70,000
(その他経費)				
材料費	9,000			8,062
業務委託費	350,000			78,130
諸謝金	5,440,000			4,083,161
印刷製本費(事業)	70,000			48,192
会議費(事業)	45,000			69,840
旅費交通費(事業)	903,000			612,376
通信運搬費(事業)	16,000			13,709
消耗品費(事業)	120,000			165,714
諸会費	15,000			
租税公課(事業)	11,000			3,200
研修費	180,000			147,500

支払手数料(事業)	21,000			17,658
雑費(NPO15周年事業)				268,509
雑費	86,500			0
その他経費計		7,266,500		5,516,051
事業費計			7,341,500	5,586,051
<b>2. 管理費</b>				
(人件費)				
給与 手当	122,400			122,400
通勤費	32,640			32,640
人件費計		155,040		155,040
(その他経費)				
諸謝金	80,000			76,822
印刷製本費	200			192
会議費	75,000			72,650
旅費交通費	600			560
通信運搬費	63,000			62,601
消耗品費	10,000			47,042
地代家賃	412,260			412,260
接待交際費	0			0
減価償却費	0			0
保険料	35,840			35,840
諸会費	27,000			27,080
慶弔費	0			0
租税公課	70,000			70,009
支払手数料	32,000			31,188
雑費	45,000			40,489
その他経費計		850,900		876,733
管理費計			1,005,940	1,031,773
経常費用計			8,347,440	6,617,824
当期経常増減額			△ 222,470	△ 146,668
<b>Ⅲ 経常外収益</b>				
経常外収益計			0	0
<b>Ⅳ 経常外費用</b>				
経常外費用計			0	0
<b>税引前当期正味財産増減額</b>				
当期正味財産増減額			△ 222,470	△ 146,668
前期繰越正味財産額			6,530,760	6,677,428
次期繰越正味財産額			6,308,290	6,530,760

3部会の事業計画および収支予算書を統合し、管理部門経費については、過年度の傾向を踏襲してまとめています。20万円強の赤字予算となりました。しかしながら、3部門ともに意欲的な事業発展を目指している過程にありますので、臆せず前向きに進んでいくことが望まれます。それとともに、予算には反映しませんでした、理事長総括にもありますように、会員増強に努めましょう！

## 6号議案 定款変更の件

貸借対照表公告義務化に対応して、公告方法を容易に実施できる方式に変更する。現行は官報掲載(有料)となっているが、これを「自法人のHPに掲載する。」に改めることとし、定款を変更する。